

後期日程

令和4年度入学試験問題（後期日程）

# 数 学

（農学部）

————— 解答上の注意事項 —————

1. 「解答始め」の合図があるまで問題を見てはならない。
2. 問題冊子1冊および解答紙4枚がある。解答紙は1枚ずつ切り離して使用すること。
3. 問題は **1** から **4** まで4問ある。各問の解答は所定の解答紙にのみ記入すること。
4. 解答は、できるだけ解答紙の表面にすべて書くこと。やむを得ず解答紙の裏面を使う場合は、表面の右下に「裏面に続く」と書き、解答の続きを裏面の仕切り線の下に記入すること。
5. 解答しない問題がある場合でも、解答紙4枚すべてを提出すること。
6. 問題冊子は持ち帰ること。

1 座標平面上において、原点  $O(0, 0)$  を中心とする半径 2 の円を  $C$  とし、点  $P_1(1, 0)$ ,  $P_2(-1, 0)$  を中心とする半径 1 の円をそれぞれ  $C_1$ ,  $C_2$  とする。さらに、円  $C_3$  は  $C$  に内接して、 $C_1$  と  $C_2$  に外接し、 $C_3$  の中心を  $P_3$  とするとき、その  $y$  座標が正であるとする。次の問に答えよ。

- (1) 円  $C_3$  の半径を  $r$  とする。 $\triangle OP_1P_3$  が直角三角形になることを用いて、 $r$  の値を求めよ。
- (2) 円  $C_4$  は  $C$  に内接して、 $C_1$  と  $C_3$  に外接し、さらに  $C_4$  の中心の  $x$  座標が正であるとする。 $C_4$  の中心を  $P_4$  とし、 $\angle P_1OP_4$  を  $\alpha$ ,  $\angle P_3OP_4$  を  $\beta$  とおく。 $C_4$  の半径を  $s$  とするとき、 $\cos \alpha$  と  $\cos \beta$  を  $s$  を用いて表せ。
- (3) (2) の  $\alpha$ ,  $\beta$ ,  $s$  について、 $\cos^2 \alpha + \cos^2 \beta$  と  $s$  の値を求めよ。

2

$a$  を 1 以上 9 以下の整数とする。箱の中に

20 ポイントのくじ 2 本

10 ポイントのくじ  $a$  本

5 ポイントのくじ 8 本

0 ポイントのくじ  $(10 - a)$  本

の合計 20 本のくじを入れてよくかき混ぜる。この箱の中から同時に引いた 2 本のくじのポイントの和を獲得ポイントとするとき、次の問に答えよ。

- (1)  $a = 5$  のとき、獲得ポイントが正である確率を求めよ。
- (2)  $a = 5$  とする。獲得ポイントが 20 であったとき、引いたくじの中に 10 ポイントのくじが含まれている確率を求めよ。
- (3)  $a$  を 1 以上 9 以下の整数とするとき、獲得ポイントが 20 である確率を  $a$  を用いて表せ。さらに、この確率が最小となる  $a$  の値をすべて求めよ。

**3** 次の問に答えよ。

(1) 一般項が  $S_n = 2^n n$  で表される数列  $\{S_n\}$  について

$$S_{n+1} - S_n = 2^n P_1(n) \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

を満たす整式  $P_1(x)$  を求めよ。

また、この  $P_1(x)$  について

$$\sum_{k=1}^n 2^k P_1(k) = 2^n P_2(n) + a \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

を満たす整式  $P_2(x)$  と定数  $a$  の値を求めよ。

(2)

$$\sum_{k=1}^n 2^k k = 2^n Q(n) + b \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

を満たす整式  $Q(x)$  と定数  $b$  の値を求めよ。

(3) 一般項が  $T_n = 2^n n^2$  で表される数列  $\{T_n\}$  について

$$T_{n+1} - T_n = 2^n R_1(n) \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

を満たす整式  $R_1(x)$  を求めよ。

さらに

$$\sum_{k=1}^n 2^k k^2 = 2^n R_2(n) + c \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

を満たす整式  $R_2(x)$  と定数  $c$  の値を求めよ。

4

関数  $x^2 - 3x$  の不定積分の1つを  $f(x)$  とし、関数  $g(t)$  を

$$g(t) = f(3t+3) - f(t)$$

で定める。次の問に答えよ。

- (1)  $g(t)$  を  $t$  の整式として表せ。
- (2) 関数  $g(t)$  の増減を調べ、極値を与える  $t$  の値を求めよ。
- (3) 方程式  $g(t) = 0$  のすべての実数解を求めよ。